

2023年3月期 第1四半期決算

決算説明会

2022年7月27日

株式会社 トクヤマ



2023年3月期 第1四半期決算のポイント

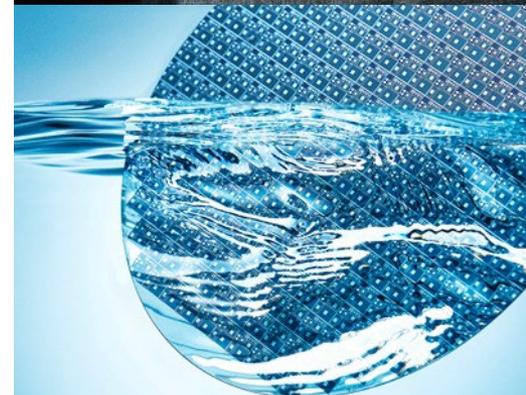
- 化学品、セメント、半導体関連製品などで販売価格修正を進めたこと等により増収であったものの、物流費や原燃料価格などのコスト増により減益
- 原燃料価格は期初想定を上回る水準で推移。引き続き販売価格修正などの施策を実施し、通期業績予想達成に向けて注力
- FTAC社（台湾）・STAC社（韓国）におけるICケミカル事業拡大、徳山化工（中国）でのシリカ生産能力増強など、「中期経営計画2025」に掲げる事業ポートフォリオ転換達成に向け、成長戦略を着実に実行

CONTENTS

- ① 2023年3月期 第1四半期決算
- ② 2023年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2023年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	674	840	+165	+ 24	石化製品、セメント及び 半導体関連製品価格上昇
営業利益	74	51	△23	△32	物流費及び 原燃料コスト増加
経常利益	79	71	△7	△10	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	49	44	△4	△9	経常利益の減少
1株当たり 四半期純利益 (円)	68.65	62.29	-	-	-
為替 (円/\$)	109	130	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	47,900	86,500	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2022年3月末	2022年6月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,332	4,556	+224	原燃料単価アップに伴う 製品等の棚卸資産の増加
自己資本	2,245	2,275	+30	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	51.8%	49.9%	△1.9ポイント	-
有利子負債	1,092	1,121	+28	長期借入金の増加
D/Eレシオ	0.49	0.49	+0.01	-
ネットD/Eレシオ*	0.12	0.09	△0.02	-
1株当たり純資産 (円)	3,120.25	3,161.97	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

(億円)

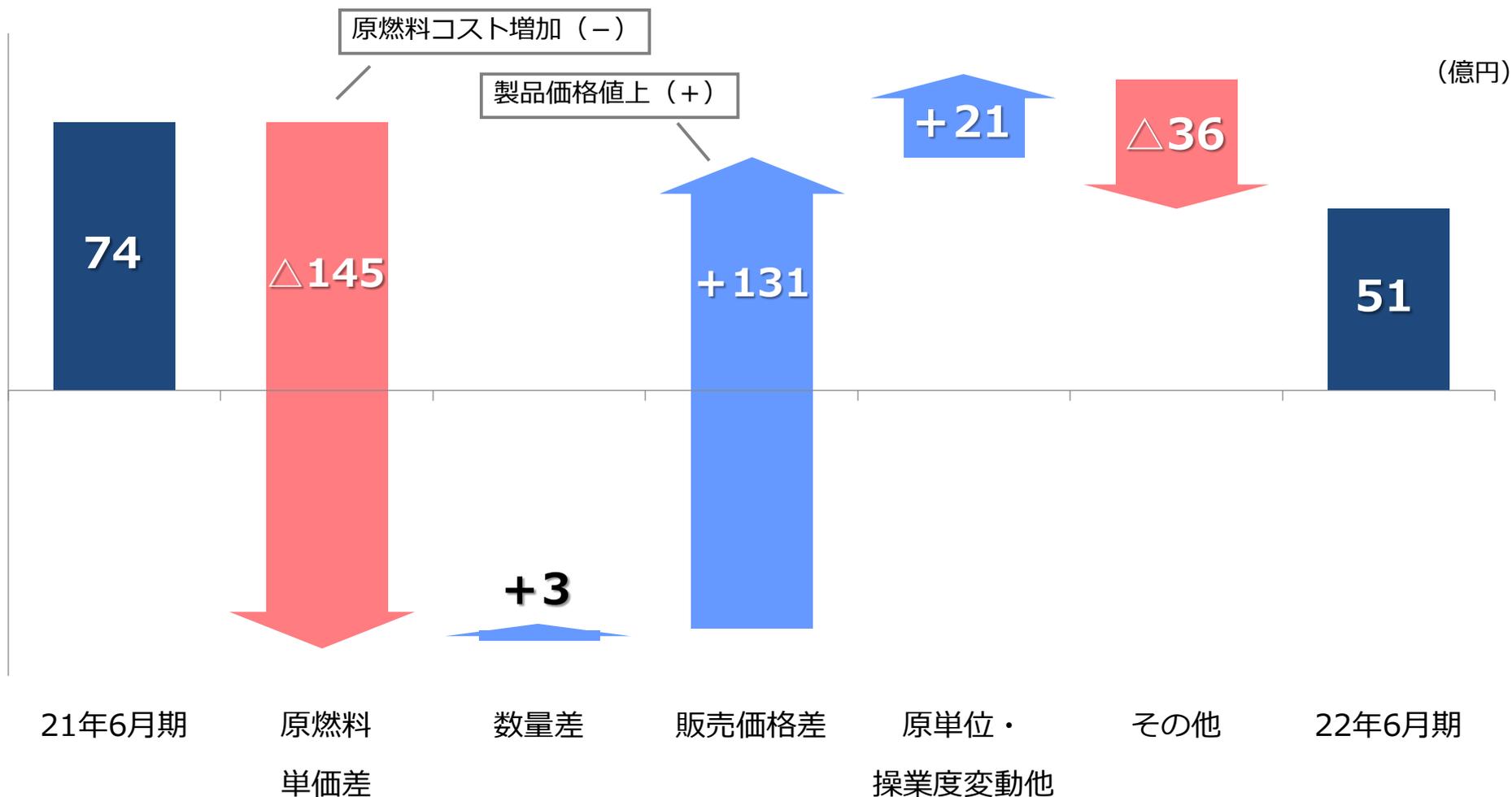
	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	240	40	316	42	+76	+32	+1	+5
セメント	122	5	145	△3	+22	+19	△8	-
電子材料	165	21	204	13	+39	+24	△7	△35
ライフサイエンス	74	11	83	13	+8	+12	+2	+22
環境事業	22	△1	25	△1	+3	+15	+0	-
その他	78	8	96	5	+18	+23	△3	△40
計	704	85	872	70	+168	+24	△15	△18
セグメント間 消去・全社費用	△29	△10	△32	△19	△3	-	△8	-
連結決算	674	74	840	51	+165	+24	△23	△32

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別



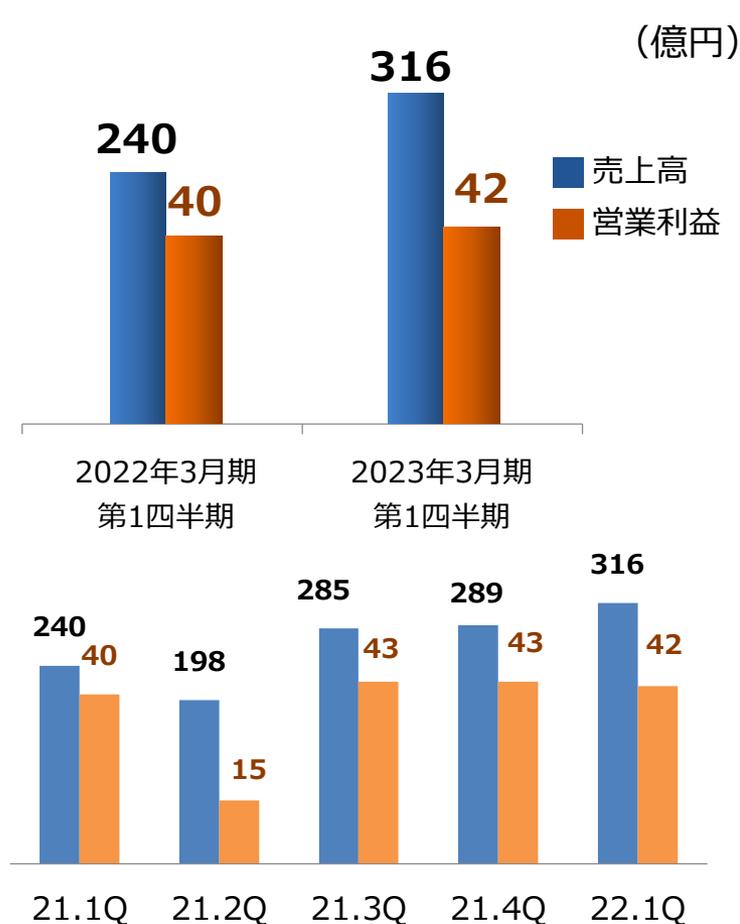
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・原燃料コストの増加はあったものの輸出価格が上昇したことにより増益

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

- ・原燃料価格の上昇で製造コストが増加したことにより減益

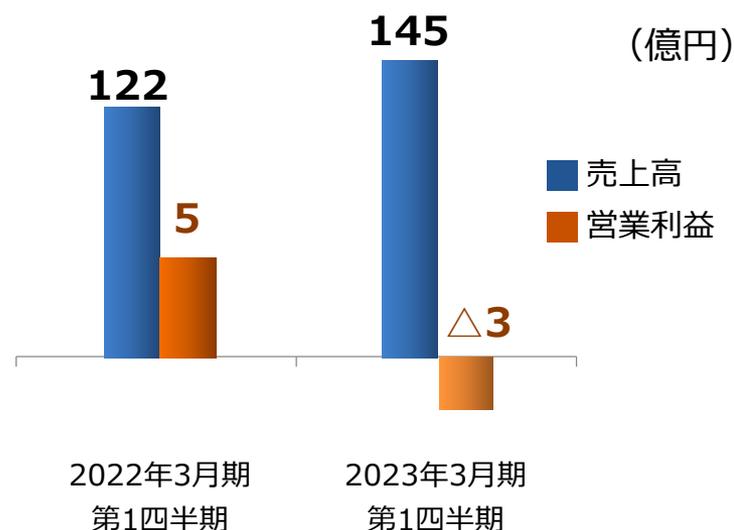
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

セメント

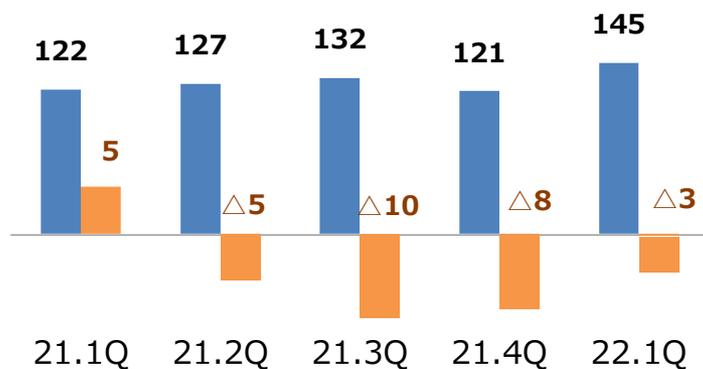
増収赤字転落

定性情報



(セメント)

- ・ 出荷は前年同期並みであり、販売価格修正を進めたものの原料価格の上昇で製造コストが増加したことにより損益悪化



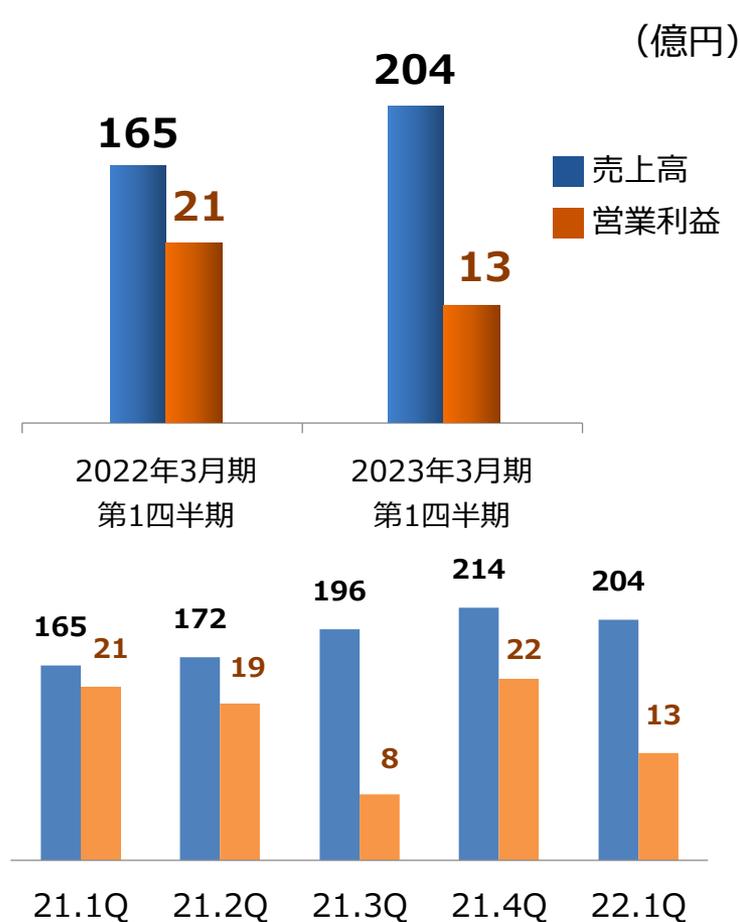
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

電子材料

増収減益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)

- ・ 5Gの普及やデータセンターの増設を背景に販売が堅調に推移した一方、原燃料価格の上昇等による製造コストの増加により減益

(ICケミカル)

- ・ 販売は堅調だったものの、原料価格の上昇等により減益

(乾式シリカ)

- ・ 原料コストの増加はあったものの、輸出価格が上昇したこと等により増益

(放熱材)

- ・ 販売数量は堅調に推移したものの、先進技術事業化センターの研究開発費の増加等により前年同期並みの業績

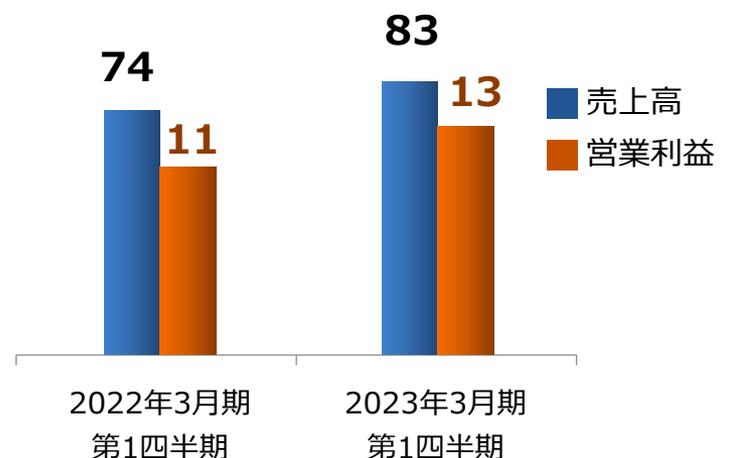
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

ライフ
サイエンス

増収増益

(億円)



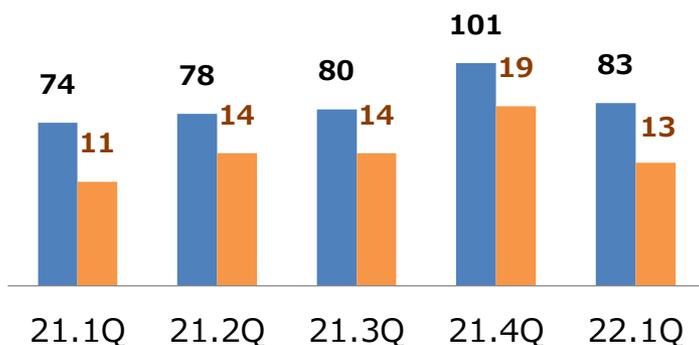
定性情報

(歯科器材)

- ・海外向けを中心に出荷が増加したことにより増益

(医薬品原薬・中間体)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し増益



4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

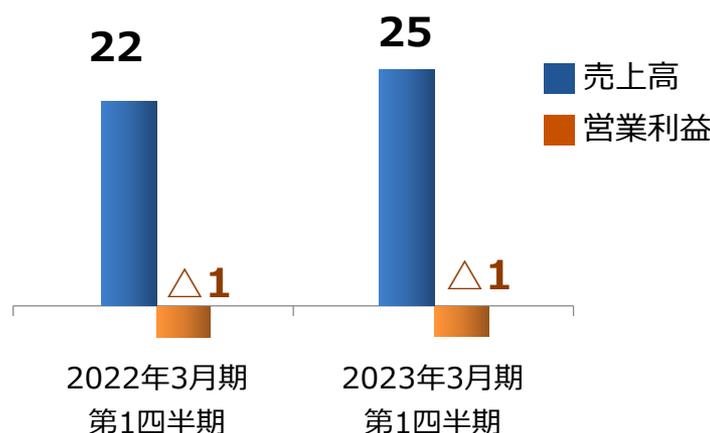
(前年同期比)

環境事業

増収赤字縮小

定性情報

(億円)

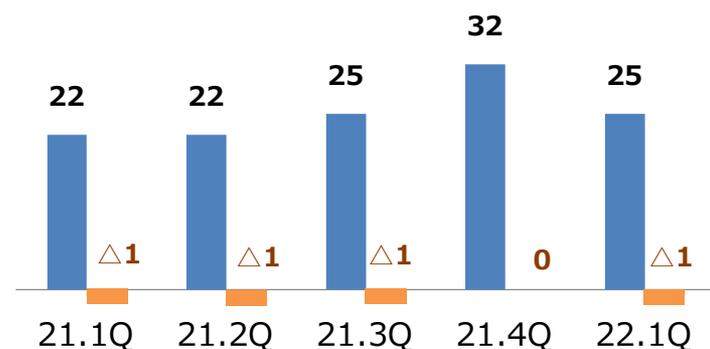


(廃石膏ボードリサイクル)

- ・ 廃石膏ボードの受入堅調。
第3拠点（北海道室蘭市）設立による
売上寄与は2023年度以降

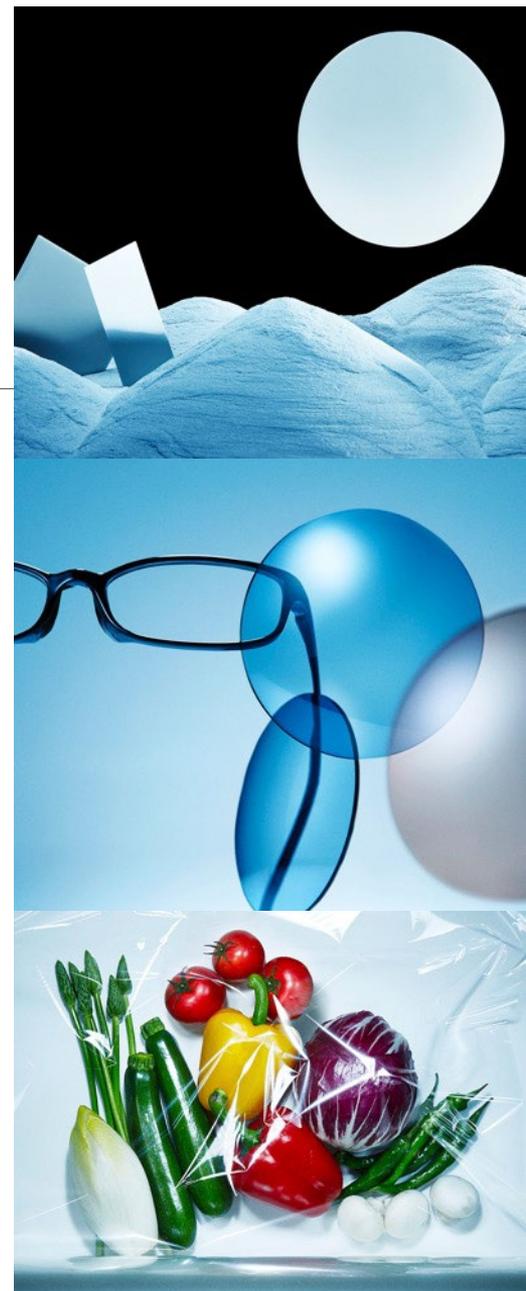
(イオン交換膜・樹脂サッシ)

- ・ 前年同期並みの業績



② 2023年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想修正



1. 業績予想

'22/4/28公表値を据え置き

(億円)

	2022年3月期実績	2023年3月期予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,938	3,600	+661	+23	化成品・セメント価格修正 半導体関連製品販売堅調
営業利益	245	245	△0	△0	先行投資の増加 原燃料コスト増加
経常利益	258	250	△8	△3	営業外損益の悪化
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	175	△105	△38	税金費用の増加
1株当たり 当期純利益 (円)	389.09	243.22	-	-	-
為替 (円/\$)	112	1Q実績：130 2~4Q前提：130	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	56,800	1Q実績：86,500 2~4Q前提：79,000	-	-	-

2. セグメント別業績予想修正

'22/4/28公表値から修正

(億円)

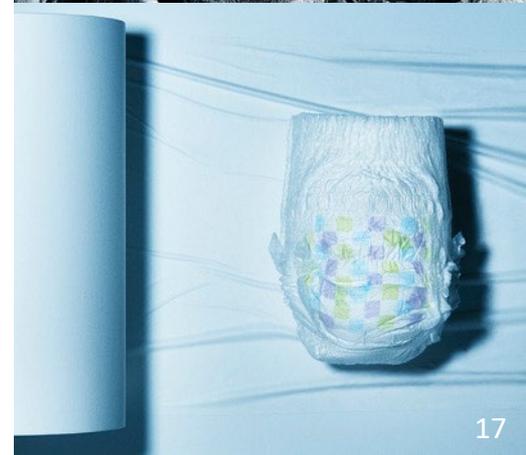
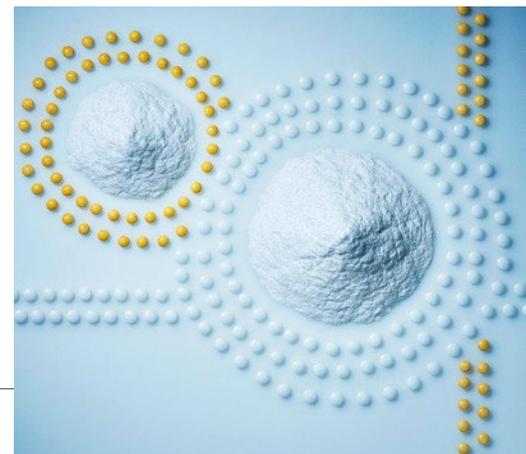
	2023年3月期 予想 (2022/04/28公表)		2023年3月期 予想 (2022/07/27修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,255	160	1,255	160	-	-	-	-
セメント	630	△15	630	△25	-	-	△10	-
電子材料	935	70	935	70	-	-	-	-
ライフサイエンス	350	60	350	70	-	-	+10	+17
環境事業	150	0	150	0	-	-	-	-
その他	415	25	415	25	-	-	-	-
計	3,735	300	3,735	300	-	-	-	-
セグメント間 消去・全社費用	△135	△55	△135	△55	-	-	-	-
連結決算	3,600	245	3,600	245	-	-	-	-

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

連結合計の通期業績予想は据え置くものの、1Qまでの実績等を踏まえ、セグメント別内訳を修正

③ トピックス

1. 事業ポートフォリオの転換



1. 事業ポートフォリオの転換

事業ポートフォリオの転換をけん引する「電子」分野 「中期経営計画2025」目標達成に向け計画どおり進捗

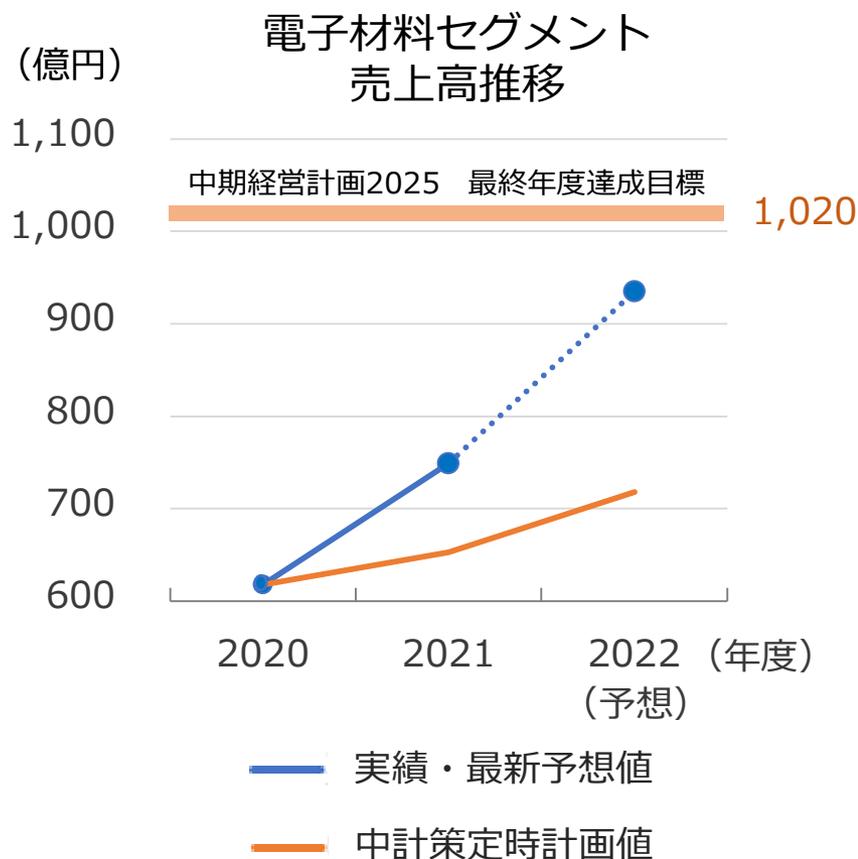
➤ ICケミカル：

台湾FTAC社-出荷開始
韓国STAC社-建設工事着工

➤ シリカ：

徳山化工（浙江）での増強

- ・ 疎水シリカ（接着剤・塗料用途）
-2022年9月着工、
2023年8月営業運転開始
- ・ 高純度トリクロロシラン（半導体用途）
-2022年9月着工、
2024年1月営業運転開始



もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 業績推移



1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	
			金額	%
売上高	674	840	+165	+24
売上原価	432	599	△166	△39
販管費	167	190	△22	△13
営業利益	74	51	△23	△32
営業外損益	4	20	+15	+391
経常利益	79	71	△7	△10
特別損益	△1	△0	+1	-
税前四半期純利益	77	70	△6	△9
法人税等	27	26	+1	+6
非支配株主利益	0	△0	+0	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	49	44	△4	△9

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

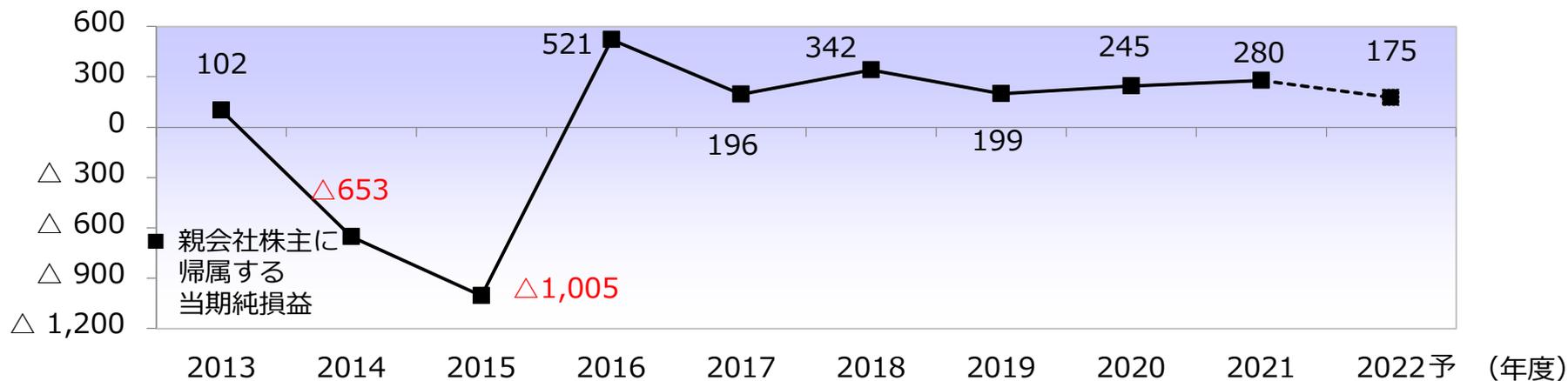
（億円）

	2022年3月末	2022年6月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,332	4,556	+224	+5
流動資産	2,239	2,426	+186	+8
有形固定資産	1,396	1,428	+32	+2
無形固定資産	26	28	+1	+6
投資その他の資産	669	673	+3	+1

	2022年3月末	2022年6月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,002	2,199	+196	+10
流動負債	1,023	1,098	+75	+7
固定負債	979	1,100	+121	+12
純資産合計	2,329	2,357	+28	+1

④ 補足資料

2. 業績推移

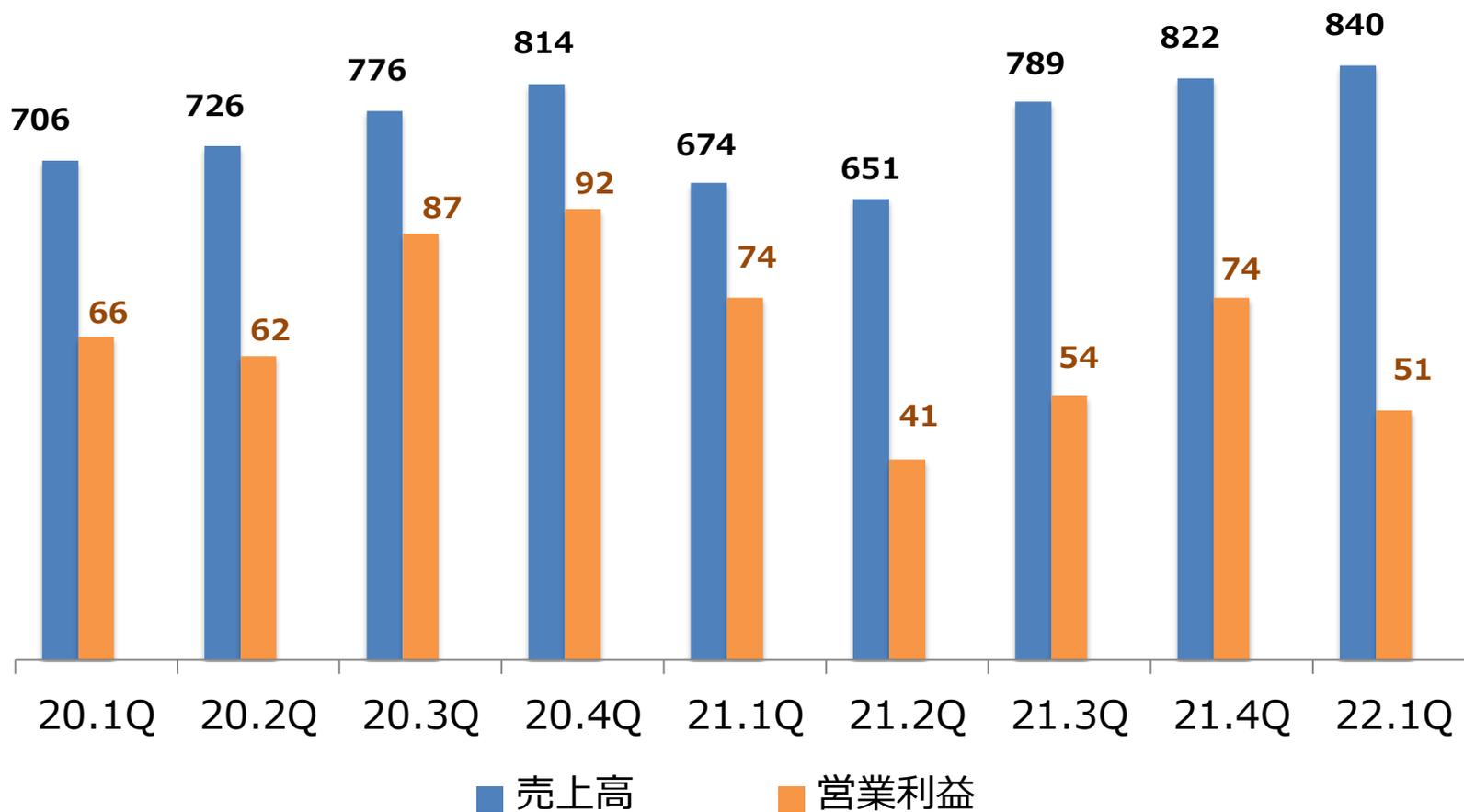


2. 業績推移

連結

四半期

(億円)



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 